



No. 2979

第3297回例会

平成24年5月9日

DISTRICT 2500 OB/HIRO ROTARY CLUB

2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

方針

ロータリーを学び 共に楽しもう

会長 加藤 維利

出席
報告

4月18日例会
会員総数88名（内免除会員8名） 欠席者20名（出免3名）

出席者数 64名

0

メイクアップ 4名

88(名)

■プログラム「花見例会」プログラム委員会



■会長報告



加藤 維利 会長

いよいよ5月に入って、街路樹や庭先の木々の枝に淡い緑色の若葉が急に視界に広がるようになってきました。北海道はツツジも辛夷も桜もチューリップも、一斉に咲きほこり、1年中で1番にぎやかな花の季節だと思います。

今日は久しぶりの、夜間の花見例会です。外はまだ寒いので夜桜を見ながら、という訳にはいきませんが、花より団子、花見酒ということで、花盛りのこの季節の第1例会をにぎやかにしたいと思います。

ところで、お花見と言えば桜。日本人は桜の下で酒を飲みたくなってしまう。なぜなのか。ほかの花を愛でながら、酒を飲むことはありません。日本には古来より山の神を信仰する、サガミ信仰があります。サは神様のことで、日本国中にサのつく地名がたくさんあります。例えば、相模、薩摩、讃岐、佐渡、上総、下総、若狭、土佐、武蔵などですが、まだまだ古代の地名にはサのつく地名が多くあります。

帯広では酒米の「彗星」の田植えが始まったという記事が新聞に載っていましたが、本州では田植えがすでに始まっています。この時期は里山に「サ神様」が降りてくる月で「さつき」と言い。苗は「さなえ」、田植えをする女性は「さおとめ」、その時期の雨を「さみだれ」など田植えの神様に関する言葉となっています。

この時期、本州は4月（旧暦の5月）に咲く花をサクラといい、古代の日本人にとって田作りをする合図でした。それは、稲の神霊の宿る樹木とされていたようです。そのサクラの「サ」はサ神様を表していますが、クラは古語では神霊の座る場所とされ、神様がそこを目指して降りてくるところを現しています。

古代人はサクラという「サ神」神霊が宿っている桜の花の下で、お神酒であるサケをサカズキ（杯）に入れて、おつまみのサカナ（肴）やサイ（菜）をサラ（皿）にもりつけ、お供えをする。つまりササゲ（捧げ）、それをオサガリ（お下がり）として飲食することにより、「サ神様」のお祝いの意味でのサイワイ（幸福）をサズカ（授）ろうとします。

そして、サカエ（栄え）、サカリ（盛り）、桜の花がサク（咲く）等、「サ」のつく言葉は古代人の言葉として、おびただしい数があります。つまり、サのつく言葉はすべて神聖な意味を表しています。

昔の人は山の峠のサカ（坂）を越えるときに、その山の神に無事を祈願して手を合わせていました。それが手向けといい、タムケとなり、タウゲから、トウゲ（峠）という言葉ができました。また、山の神を礼拝するときには立ったままでは失礼に当たるため、サ（山の神）オガムから、シャオガム、そしてシャガムという言葉になったと言われています。

今日は桜の木も花もありますが、平安時代の宮中の貴族のように気品のある我々ではありませんので、古代の農村の庶民のように、映像の中で「サ神様」にお祝いをしていただき、満開の桜をイメージしてロータリーの親睦を深めて多に楽しんでいただければ、「サ神様」も喜んでくださるものと思ひまして会長報告とさせていただきます。

■会務報告

和田 賢二 幹事

4月いっぱい、高見英樹会員と松井文一郎会員が転勤のため退会されました。後任の方も入会されると聞いています。

5月18日に第五中学で、職業奉仕活動で出前講座を行います。眞鍋智紀会員と池田雄一会員が講話します。

6月23日の市民フォーラム、アンチ・スティグマについてはメーキャップ対象事業とすることを決めました。手作りの市民フォーラムですので、お手伝いいただける方を募っています。

(1)帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同植樹祭開催のご案内

日 時 5月20日(日)午前10時

場 所 北海道十勝エコロジーパーク

※尚、帯広北RC、5月18日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広東RC、5月22日(火)の繰上げ例会と致します。

(2)帯広南RC、移動例会開催のご案内

日 時 5月28日(月)午前11時

場 所 友好の森（帯広の森内）

■委員会報告

出席報告

園尾 眞一 出席委員

5月 9日例会の報告 会員総数87名 内免除会員8名 出席者数61名

4月18日例会の報告 メークアップを含む出席者数68名 出席率81.9%

ニコニコ献金

小林 義之 親睦活動委員

加藤 維利 会長

5月6日に交通事故にあました。一時停止無視の車にぶつけられました。車は大破ですが、体は問題ありません。皆さん、交通事故に気をつけましょう。

佐藤 真康 会員

還暦祝い

■誕生祝い

進藤 恒彦 会員 中田 隆三 会員 佐藤 真康 会員

中田 知徳 会員 小白 智志 会員 新田 潔 会員

■結婚祝い

白石 俊之 会員 林 光繁 会員 平原 隆 会員

中田 隆三 会員 合田 倫佳 会員 辺見 京一 会員

藤森 裕康 会員

■配偶者誕生祝い

進藤 恒彦 会員 加藤 維利 会長 中田 隆三 会員

堀江 威光 会員

■5月のプログラム予定

5月16日(水)「ポリオ予防活動の活動状況」DVD・卓話

(ロータリー財団委員会)

5月23日(水)「海の生き物たち」会員卓話 榎安 雅満 会員

(プログラム委員会)

5月30日(水)「地域で働く障がい者のサポートについて」

ゲスト卓話 (新世代奉仕委員会)

十勝障がい者就業・生活支援センターだいち センター長 片平 修様

ロータリー情報

帯広RCがスポンサークラブである芽室RC（武藤保宏会長）が創立50周年を迎え、その記念式典と祝賀会が12日に芽室町内で開かれました。帯広RCも加藤維利会長以下34人が参加しました。式典では、武藤会長から加藤会長に感謝状と記念品が贈られました。記念講演は金子勝慶応大学教授で演題は「農・食・エネルギーの未来は十勝が創る 亡国の旗・TPPを掲げることなかれ」で2500地区各地から集まったロータリアンの共感を呼んでいました。祝賀会も約220人が出席し、友情を深め合いました。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例 会 日／水曜日 12:30～13:30
例会会場／ホテル日航ノースランド帯広
TEL0155-24-1234

●創 立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820

●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発 行／クラブ広報

●委 員 長／安岡美樹夫

高原 淳・田守 由宗・北野 宏明

堀江 威光・辺見 京一・加藤 敏紀

●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.jp>